

## 保険料水準の統一について（検討参考）

## 1 統一に向けた手順・スケジュールについて

## (1) 医療費水準の状況（資料6）

## (2) 市町村アンケート（令和2年1月実施）結果（資料7）

(3) 令和6年度以降の医療費指数反映係数 $\alpha$ の取扱いに向けた検討について

## ○検討事項（案）

- ・「 $\alpha=0$ 」への移行期間（始期・終期）
- ・徐々に0に近づけていく方法
- ・令和3年度から5年度の間組
- ・ $\alpha$ の移行に関して考慮すべき事項

<  $\alpha$ の移行に関して考慮すべき事項（例） >

- ・医療費水準の格差縮減に向けた取組の状況
- ・市町村納付金の激変緩和
- ・将来にわたる医療費適正化インセンティブの確保

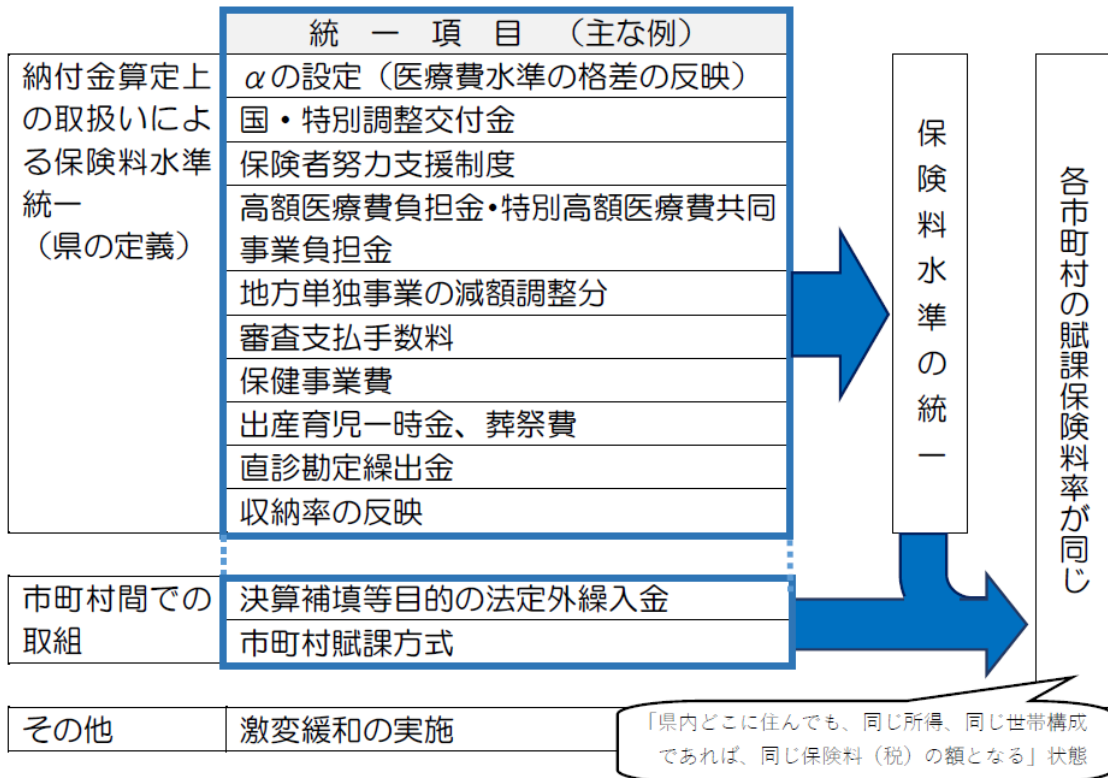
## 2 統一の定義について

### (1) 現行の運営方針の考え方

- ・現行の運営方針では、県の納付金及び標準保険料率の算定過程における市町村毎の収入・支出項目（個別の加算・減算）等について、すべて納付金算定基礎額の算定項目とし、市町村標準保険料率を同一とすることを統一の定義としている。

(統一の範囲)

統一に向けた環境づくり	医療費水準の平準化
	保険料（税）収納率向上



### (2) 検討課題

【現行の定義の場合】

- ・市町村標準保険料率を同一とするためには、市町村毎の個別加算・減算項目について、地域の実情による差がなくなるようにするか、差があってもそれを算定に反映しないようにする等、項目ごとに調整が必要。

【定義を見直す場合】

- ・どの水準までの統一を目指すのか検討が必要。